

樽前山

○地磁気全磁力

反復磁気測量に基づく 2013 年 6 月 11 日から 2014 年 5 月 31 日にかけての約 1 年間の全磁力変化を図 1 に示す。また、主要な 2 地点については時系列グラフも示す (図 2)。観測された変化パターンはドーム直下の深さ約 500m に置かれた磁気双極子でよく近似され、これまでと同様、主磁場方向に着磁傾向 (熱磁気効果を仮定すれば冷却) を示している。2010 年以降はほぼ一定の変化率であり、2013 年 6 月以降の群発地震の直接的な影響は認められない。

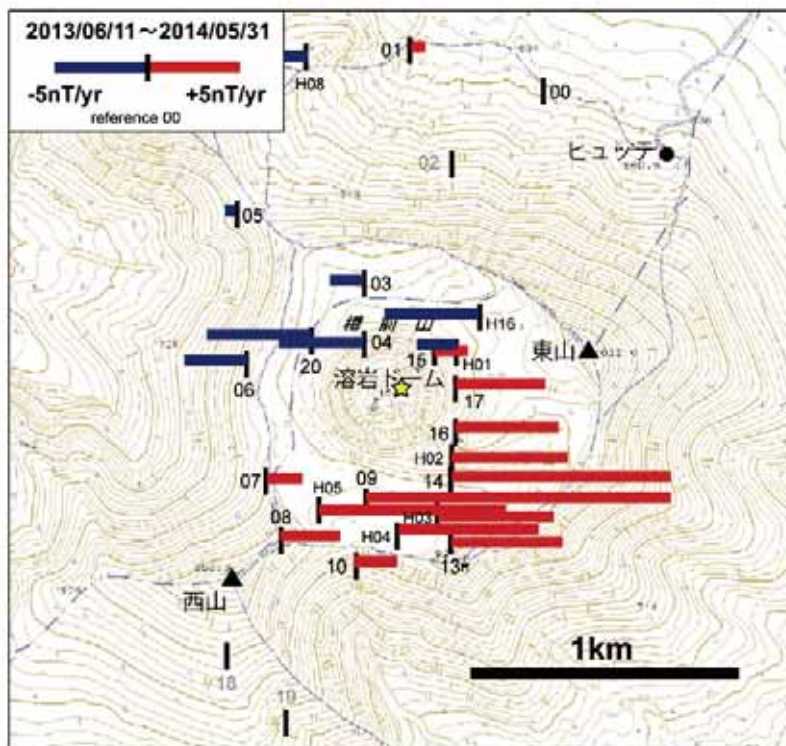


図 1 2013 年 6 月 11 日から 2014 年 5 月 31 日の全磁力変化. ★は観測結果を磁気双極子で近似した場合のソース水平位置. 参照点は測点 00.

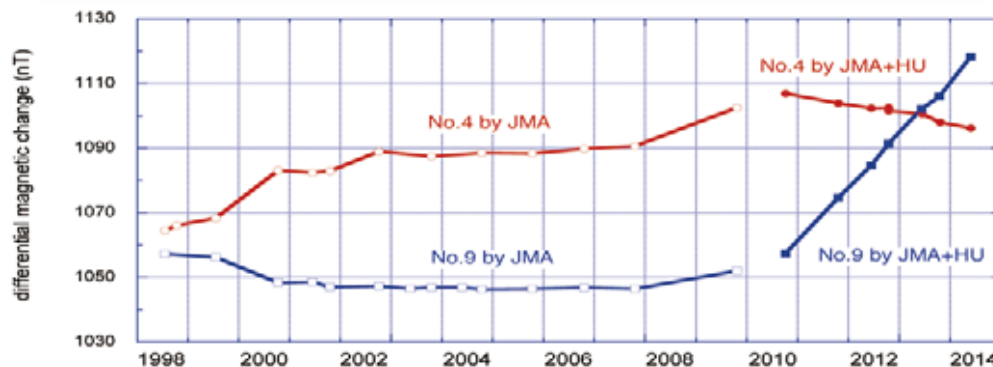


図 2. 測点 4 と測点 9 の全磁力変化 (1998-2014 年). 2009 年以前は札幌管区気象台単独の測定, 2009 年以降は北海道大学と札幌管区気象台の共同測定による。

(橋本・松本・鈴木)

樽前山